

# 十勝岳火山防災協議会の開催結果概要について

十勝岳火山防災協議会

## 【開催概要】

日時：令和8年9月7日 13:30～  
開催方法：WEB開催  
会長：上富良野町長

## 【参加機関】

北海道、美瑛町、上富良野町、  
中富良野町、富良野市、新得町、  
札幌管区気象台、旭川地方気象台、  
釧路地方気象台、札幌開発建設部、  
旭川開発建設部、帯広開発建設部、  
陸上自衛隊、北海道警察、  
富良野広域連合、大雪消防組合、  
とかち広域消防局、上川中部森林管理署、  
上川南部森林管理署、  
十勝西部森林管理署東大雪支署、  
上川総合振興局、十勝総合振興局、  
環境省北海道環境局、  
北海道電力ネットワーク株式会社、  
北海道総合通信局、国土地理院、  
富良野土地改良区、旭川赤十字病院、  
旭川医科大学病院

## 【報告事項と議事】

- ・十勝岳の火山活動の現況について
- ・緊急減災対策について

## 【委員(学識)の意見】 ※予め頂いた意見を事務局代読

- 青山 北海道大学大学院教授
  - ・火山活動は引き続き活発な状態にあり、マグマ噴火の切迫性が高まっていくと考えられ、冬期を前に万が一の発災への備えを進めることが重要。
- 高橋 北海道立総合研究機構研究主幹
  - ・火山活動が高まっている中、噴火や融雪型火山泥流に備えた積雪期前の減災対策が重要。
- 山田 北海道大学名誉教授
  - ・確実な対応のため、現段階から計画的に対策を進めることが重要。

## 【実施状況写真】



## 【委員の意見】

- 美瑛町 吉川副町長
  - ・緊急減災対策を支持。万が一の事態に備え、被害を最小限に抑えるために極めて重要であり、迅速な対応を要望。
- 上富良野町 斎藤町長
  - ・緊急減災対策の早期実施を支持。積雪期前に最大限の対策推進と監視体制強化を要望。

## 【協議会とりまとめ】

- 積雪期を前に十勝岳では火山活動が高まった状態が継続していることから、緊急減災対策については、レベル2の現状において、積雪期を迎える前に早期に着手し、対策を進捗させる必要があること。
- 硫黄沢観測地点での最大振幅 $2\mu m$ 以上の火山性地震が30日積算で観測数が無くなったとしても冬期の再度の活動活発化に備えて、その必要性は変わらないこと。
- 協議会としてこの緊急減災対策の考え方及び実施の方針について了解した。